

2016年度

東京都中学校体育連盟

バドミントン部専門委員総会

2016年4月21日(木) 於 新宿区立 新宿 中学校 けやきホール

1, 開会の挨拶

2, 平成27年度 事業報告

- ・総務委員会
- ・競技委員会
- ・審判委員会
- ・強化普及委員会

会計報告 会計委員会

3, 役員委員の改選・承認

4, 平成28年度 事業計画

- ・総務委員会
- ・競技委員会
- ・審判委員会
- ・強化普及委員会

予算案 会計委員会

5, ブロック顔合わせ・委員長・副委員長確認

日程等打ち合わせ

6, その他

7, 閉会の挨拶



都中体連バドミントン部公式ホームページ

<http://tokyo-ctrbad.com/>

東京都中学校体育連盟バドミントン部

検索

平成28年度

役員・委員

顧問	田極政一郎 (武蔵野・第六中)
	島 朝樹 (小平・小平第二中)
役員 部長	渡辺 英俊 (昭島・拝島中)
副部長	千葉 俊信 (葛飾・堀切中)
	中居 光仁 (町田・鶴川中)
会計監査委員	遠藤 淳 (江東・辰巳中)

推薦常任委員 (各実務委員 委員長・副委員長)

横田 和長 (杉並・高円寺中)	板橋 佳希 (品川・大崎中)
溝口 千里 (練馬・石神井西中)	鈴木 寛 (大田・羽田中)
原 善哉 (昭島・多摩辺中)	難波 裕司 (立川・第四中)
小林 義和 (江東・第二砂町中)	

推薦専門委員 (各実務委員)

吉田 篤郎 (葛飾・葛美中)	清水 正人 (三鷹・第六中)
飛鳥井雅孝 (三鷹・第一中)	洲鎌 修 (文京・本郷台中)
今村 吾朗 (杉並・高円寺中)	植松 雄樹 (足立・第十三中)
青森 一博 (八王子・松木中)	井上 幸治 (世田谷・喜多見中)
今川 美香 (世田谷・烏山中)	磯貝 友美 (板橋・第一中)
下川 勝久 (大田・大森二中)	

ブロック役員 (委員長・副委員長)

ブロック	ブロック委員長	ブロック副委員長
A	芝田 靖孝 (目黒・大鳥中)	中條 洋一 (大田・馬込中)
B	新井 博幸 (板橋・赤塚一中)	飯田 到 (練馬・旭丘中)
C	石津 成章 (荒川・第一中)	中尾 佳彦 (足立・第九中)
D	中居 光仁 (町田・鶴川中)	氏井 聡 (八王子・第二中)
E	高寺 徹 (小平・第二中)	伊藤 一彦 (日の出・平井中)
F	福島 悠太 (利島・利島中)	柳井 香里 (新島・式根島中)

実務委員会

総務委員会

委員長 原 善哉 (多摩辺中)

副委員長 石原春彦 (武蔵村山三中) 難波裕司 (立川四中)

委員 植松雄樹 (足立十三中)

競技委員会

委員長 新井博幸 (赤塚一中)

副委員長 鈴木 寛 (羽田中)

委員 芝田靖孝 (大鳥中) 今川美香 (烏山中) 飛鳥井雅孝 (三鷹一中)

青森一博 (松木中) 井上幸治 (喜多見中) 中條洋一 (馬込中)

飯田 到 (旭丘中)

強化普及委員会

委員長 板橋佳希 (大崎中)

副委員長 氏井 聡 (八王子二中) 横田和長 (高円寺中)

委員 今村吾朗 (高円寺中) 天間 薫 (清泉中)

清水正人 (三鷹六中) 柳井香里 (式根島中)

審判委員会

委員長 溝口千里 (石神井西中)

副委員長 小林義和 (第二南砂中)

委員 吉田篤郎 (葛美中) 中尾佳彦 (足立九中) 洲鎌 修 (本郷台中)

磯貝友美 (板橋一中) 下川勝久 (大森二中)

会計委員

委員長 高寺 徹 (小平二中)

副委員長

総務委員会

平成27年度反省

業務内容

1. 常任委員会、専門委員会招集、文書作成と発送、会議の司会と記録
2. 大会での開会式・閉会式の司会・運営、競技結果の記録および保管、賞状・副賞の準備、都教育委員会体育課・都中体連本部への報告、広報活動
3. 反省事項と申し送り事項
 - 1) 常任委員会の招集、会議録と報告書の作成
 - 出張依頼の迅速化。会場の確保について課題。
 - 会議録のフォームとファイルを作成・管理を継続。
 - 2) 監督証・役員証の管理
 - 役員証・監督証・外部指導員証・コーチ証の管理が順調。
 - 役職が変わった場合、適時役員の名刺を作成配布する。新年度の役員証も作成する。
 - 3) 競技結果の記録および保管
 - 大会結果は競技委員会がまとめて、総務委員会が報告・保管・HPにて発信。
 - 4) 都教委・中体連本部への結果報告
 - 迅速な中体連事務局へ送付。(都総体は、都総体のまとめを担当した中体連の担当者に送付) 同封・・・①大会パンフレット1部、②競技部で作成した結果記入済みトーナメント用紙
 - 総会へのごあいさつとご招待について
 - 5) 広報活動
 - 中体連バドミントン部の公式ホームページを中心に行った。
 - 指導者講習会の告知と準備・進行し講習・研修会の支援を行った。
 - バドミントンマガジンとの連携が課題
 - 6) 中体連バドミントン部公式ウェブサイトの管理
 - 競技部の協力を得ながら行った。過去のファイル等の整理を検討し実行する。
 - 7) 中体連加盟校名簿の管理
 - 各ブロックの更新については、HP上で各校が顧問が入力して完成するシステムを考えたい。
 - 引き続きシステムを考えるが、完成までは従来の方法で部員数調査を行う。

28年度業務予定

上記1.2.3.を確実にを行うよう、以下のように委員会内の分担をする。

1. 常任委員会・専門委員会の招集、司会進行	原	難波		
2. 会議録と前回の常任委員会の報告書作成			石原	植松
3. 開閉会式の司会進行	原	難波	石原	植松
4. 賞状・副賞準備	原		石原	植松
5. 監督証・役員証の管理			石原	植松
6. 都教委・中体連本部への結果報告			石原	植松
7. 中体連バドミントン部公式サイト管理	原	難波		
8. 競技結果の記録および保管	原		石原	
9. 広報活動	原	難波		植松
10. 専門委員名簿・常任委員名簿の作成	原		石原	
11. 加盟校名簿の更新	原	難波		

※お願い：平成20年度より加盟校名簿を役員連絡ページに載せています。(パスワード付きのページ)
更新方法については、最善の方法を検討し提示してまいりますので、ブロック長、専門委員、各校顧問の先生方は、ご協力よろしくお願いたします。

東京都総合体育大会

兼 東京都中学校バドミントン選手権大会 開会式について 兼 関東中学校バドミントン大会予選会

- 1, 団体戦の日は、受付をすませた後、選手は各ブロックの整列位置に移動し、9時15分の開会式に合わせて整列を完了してください。整列位置は、下記の図を参考にしてください。
- 2, プラカードを持っている生徒の後ろに、前列から男子の1位・2位、後列に3位・4位（代表数プラスの場合は調整）女子の1位・2位、後列に3位・4位と並んでください。（代表数プラスの場合は調整）。
- 3, 入場行進は、プラカードの約2メートル後ろを男女各1列で行進し会場内では本部に向かって右は男子、左は女子で整列します。
- 4, 退場は、Aブロックの男子に続いて女子、Bブロックの男子という具合にプラカードを持った生徒に続いて行進します。
- 5, 式次第

①開会宣言

②優勝杯（団体及び個人）返還ならびにレプリカ授与

男子：団体= シングルス= ダブルス=

女子：団体= シングルス= ダブルス=

③挨拶

①大会実施上の諸注意

競技場の注意	〔 競技役員長	〕
審判上の注意	〔 審判長	〕
会場使用上の注意	〔 会場指導委員長	〕
⑤閉式通告	〔	〕

都大会表彰規定

大会名	種目	順位	賞状	副賞
春季	団体	1位	都中体連	カップ（要返却）・メダル（5cm 8個）
		2位	都中体連	メダル（5cm 8個）
		3位	都中体連	メダル（5cm 8個）
	個人	1位	都中体連	メダル（6cm）
		2位	都中体連	メダル（6cm）
		3位	都中体連	メダル（6cm）
都総体選手権	団体	1位	都教委＋都中体連	カップ（都中・要返却）・メダル（都教委と都中体連6cm 8個）
		2位	都教委＋都中体連	メダル（都教委と都中体連6cm 8個）
		3位	都教委＋都中体連	メダル（都教委と都中体連6cm 8個）
	個人	1位	都教委＋都中体連	カップ（要返却）・トロフィー（中体連）・メダル（都教委）
		2位	都教委＋都中体連	トロフィー（中体連）・メダル（都教委）
		3位	都教委＋都中体連	トロフィー（中体連）・メダル（都教委）
新人	団体	1位	都中体連	カップ（要返却）・メダル（4cm 8個）
		2位	都中体連	メダル（4cm 8個）
		3位	都中体連	メダル（4cm 8個）
	個人	1位	都中体連	楯
		2位	都中体連	楯
		3位	都中体連	楯

※春季大会・新人大大会（団体戦）前年度1位にはレプリカを授与する

※団体戦のメダル（新人4cm春5cm夏6cm）は各校8個を用意する

※個人のメダル（6cm）は、一人1個を用意する

※賞状は、団体：A3版ノビサイズを各校1枚 個人：A4版ノビサイズを各人1枚用意する
（中体連本部に問い合わせをして、会長印を押すこと）

※22年度より選手権の賞状・副賞（団体：メダル・個人：トロフィー）は都教委に加え中体連も授与する。

	種目	優勝	準優勝	3位	3位
春季大会	男子団体	淑徳巣鴨	調布七	東大和四	小平二
	女子団体	小平二	開智日本橋学園	淑徳巣鴨	小岩四
	男子シングルス	小野里大夢	藤川 海颯	榎本 拓真	林 優斗
		淑徳巣鴨	小平二	淑徳巣鴨	淑徳巣鴨
	男子ダブルス	松井・大上	小室・野田	松永・関根	三橋・朽方
		調布七	淑徳巣鴨	新 町	瑞 江
女子シングルス	森 優紗	福島 早希	花嶋 美佑	松下 桜良	
	開智日本橋学園	小平二	開智日本橋学園	淑徳巣鴨	
女子ダブルス	遠藤・小林	榎本・鈴木	田中・宮	加藤・田代	
	小平二	小平二	開智日本橋学園	小平二	
選手権大会	男子団体	淑徳巣鴨	調布七	新 町	馬 込
	女子団体	小平二	開智日本橋学園	淑徳巣鴨	馬 込
	男子シングルス	小野里大夢	藤川 海颯	林 優斗	榎本 拓真
		淑徳巣鴨	小平二	淑徳巣鴨	淑徳巣鴨
	男子ダブルス	小室・野田	松井・大上	江頭・本田	松永・関根
		淑徳巣鴨	調布七	淑徳巣鴨	新 町
女子シングルス	森 優紗	福島 早希	花嶋 美佑	米倉瑚乃実	
	開智日本橋学園	小平二	開智日本橋学園	小平二	
女子ダブルス	大石・小林	榎本・遠藤	田中・宮	村上・手戸	
	小平二	小平二	開智日本橋学園	開智日本橋学園	
新人大会	男子団体	淑徳巣鴨	調布七	馬 込	小平二
	女子団体	小平二	開智日本橋学園	淑徳巣鴨	新 町
	男子シングルス	榎本 拓真	岩西 理玖	仁平 浩太	山本 一輝
		淑徳巣鴨	大 泉	実践学園	小平二
	男子ダブルス	小室・野田	江頭・溝口	松永・関根	菊池・菅原
		淑徳巣鴨	淑徳巣鴨	新 町	調布七
女子シングルス	米倉瑚乃実	山根 千遥	花嶋 美佑	重見ゆきの	
	小平二	小平二	開智日本橋学園	小平二	
女子ダブルス	加藤・田代	大上・手戸	尾林・齋藤	西野・花上	
	小平二	開智日本橋学園	開智日本橋学園	小平二	

競技部

平成27年度 事業報告

- ・春季大会、選手権大会、新人大会の運営を円滑に行うことができた。
- ・選手権大会・新人大会個人戦を自治体の協力を得て、公共の体育館で実施することができた。春季大会においては学校体育館での実施になった。
- ・生徒の安全確保に配慮して大会を運営した。
- ・組み合わせ会議では、前日までに仮の申し込みをすることにより、当日の組み合わせ会がスムーズに行われた。
- ・参加確認書や、提出書類関係の不備が数件あったが以前より減少している。
- ・次年度の大会会場を確保した。
- ・総務と協力してホームページを更新した。

平成28年度 事業計画

- ・春季大会、選手権大会、新人大会の運営を円滑に行う。
- ・次年度の大会会場を確保する。
- ・生徒の安全確保に配慮して大会を運営する。
- ・各大会において、参加確認書の提出を徹底するようにする。
- ・総務と協力してホームページを更新する。

大会実施上の規定

東京都中学校体育連盟バドミントン部

中学生として節度あるスムーズな大会の進行を期するため、応援者、卒業生なども含めて本部の指示、及び次の規定を厳守すること。守れない場合には、出場停止を含む処分をする。

1 受付

大会開始時刻までに各校引率者が必ず公印を押した参加確認書を提出し、受付を済ませる。

2 監督・コーチ・外部指導者・引率者・助言者

- (1) 監督・引率者は当該校の校長または教員とする。複数の教員が引率する場合は、1名を監督、他の者をコーチとする。競技フロア内では監督証、コーチ証を常に着用する。
- (2) 外部指導者については次の条件をすべて満たし、大会本部が認めた者とする。
 - ①当該校の校長の承認のもとで、継続的に部活動の指導にあっている20歳以上の者で、当該年度の運動部指導者証(IDカード)の交付を受けている。
 - ②参加確認書の所定欄に氏名を記入のうえ、受付時に運動部指導者証(IDカード)を提示する。競技フロア内では運動部指導者証(IDカード)を常に着用する。運動部指導者証を申請中の場合は、申請書のコピーを受付時に提示し、外部指導者証を受け取り、競技フロア内では常に着用する。なおIDカードには写真を貼付すること。
- (3) 助言者は校長が承認した者とし、参加確認書の所定欄に氏名を記入し、競技フロア内では助言者証を常に着用する。
- (4) 個人戦でやむを得ない事情で、校長または教員が監督・引率できない場合、東京都中学校体育大会実施要項〔監督・引率規定及び細則〕により、次の各項をすべて満たした場合に限り参加を認める。その場合、依頼監督者報告書を受け付け時に提出する。
書類は東京都中学校体育連盟のホームページからダウンロードすること。
 - ①監督は校長が当該地区の専門委員、または都常任委員に所定の手続きをもって依頼し、本人の承諾を得る。
 - ②引率者は次の中から、校長が認めた者とする。
 - i 当該校の学校職員
 - ii 当該校の部活動を指導している外部指導者
 - iii 当該生徒の保護者
- (5) 校長・教員以外の引率者には、監督の資格を認めない。依頼された監督の任務は、会場における監督者会議への代理出席とその内容の伝達にかかわること(大会出場中の安全管理も含む)のみとし、ベンチ入りはできない。
- (6) 監督・引率者は応援の者を含めて、最後まで責任をもって生徒を指導する。また、監督・コーチ・外部指導者・助言者は、大会要項・競技規則・大会実施上の規定・本部の指示などを遵守し、大会運営に協力する。

3 試合

- (1) 試合では常にフェアプレーを心がけ、行動を速やかにする。また、相手を威嚇したり、不快の念を抱かせないようにマナーに注意する。
- (2) 汗ふき及び水分補給が必要な場合は、主審の許可を得る。ただし、水分補給はフロアでの水分補給が認められている場合のみとし、入れ物はフタの閉められるものとする。
- (3) 団体戦の試合前後には、選手と監督が整列し、あいさつをする。
- (4) 団体戦では、対戦相手が決まり次第速やかに本部にオーダーを提出し、選手は会場内に待機する。
- (5) 団体戦の1対抗を複数コートで行う場合、試合順にかかわらず団体の勝敗が決した時点で他の試合を打ち切る場合がある。
- (6) 団体戦でコートサイドの選手席に入れるのは、当該校の登録選手及び監督・コーチ・外部指導者とする。コーチ席にはそのうち2名以内とする。
コーチ席には公認審判員規程第3条第5項第6号を厳守し試合にふさわしい服装で臨み、
体育館シューズで入場してください。(スリッパ・サンダル・裸足は不可)
- (7) 選手はシャトルがインプレーでないときに限り、コーチ席より試合中にアドバイスを受けることができる。ただし、プレーの進行を遅らせてはならない。コーチ席に入れるのは当該校の監督・コーチ・外部指導者・生徒1名のうち2名以内とする。コーチ席には試合にふさわしい服装で臨むこと(スリッパ・サンダル・裸足は不可)
- (8) インターバルの時に競技区域内でアドバイスできるのは、当該校の監督・コーチ・外部指導者・助言者・生徒1名のうち2名以内とする。
- (9) インターバルを除いて、選手は主審の許可なくコートを離れることはできない。
- (10) 審判への質問については、審判員の判定に対して疑問のある場合は当該プレーヤーが、団体戦の場合は当該プレーヤーと監督に限り質問することが認められる。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。

4 服装

- (1) 頭髪、服装は大会の品位を損なわないものとし、さっぱり整える。服装は日本バドミントン協会審査合格品とする。シャツは東京都中学校体育連盟バドミントン部認定のウェア(関東記念ウェア)・白単色の襟付きについては、着用を認める。
- (2) シャツの背中に学校名入りのマークをしっかりとつける。マークは縦20cm、横30cmの範囲に、黒または紺色の日本文字、楷書で学校名を記入したものとする。校名の下に個人名、または地区名を入れてもよい。シャツの地色が黒または紺色と同系色で、文字が見えにくい場合は文字を白色とする。
- (3) シャツの裾は、短パン、スカートの中に入れる。
- (4) 健康器具などのネックレスや手首等にバンドなどを着用しての試合を禁止する。

5 応援・会場使用

- (1) 応援は拍手のみを原則とし、会場全体の試合の妨げにならないようにする。また、フラッシュを使った写真撮影は行わない。
- (2) 空いたコートを手勝手に使用しない。また、競技フロア内では試合の進行を妨げないように注意する。
- (3) 体育館シューズと外履きの区別は会場の規定をしっかりと守る。
- (4) 指定された場所以外には、絶対に立ち入らない。
- (5) カン・ビン類、菓子類は一切持ち込まない。
- (6) 昼食は指定された場所でとる。ゴミは必ず持ち帰り、会場やその周辺には残さない。
- (7) 更衣室には荷物を放置しない。特に貴重品は各自又は学校ごとに管理する。
- (8) その他、会場の使用にあたっては、会場の規定及び本部の指示に従う。

6 審判

- (1) 試合に負けた学校及び本部より指定された学校の生徒は、ただちに、本部の指示に従って、指定された試合の審判（主審・線審・得点表示）を担当する。
- (2) 審判は厳正にてきばきと行う。疑問点は本部に問い合わせる。
- (3) 線審は一ヶ所に一名のみ着席し、明確に判定する。
- (4) 試合終了後はすぐに本部に用具（含シャトル）を返し、結果を報告する。

7 その他

- (1) 試合時間、コートなどが変更される場合があるので、常に進行の状況や放送に注意する。
- (2) 本部の指示に注意し、直ちに指示通りに行動する。
- (3) その他、不明な点、疑問などは本部に問い合わせる。
- (4) この規定は、2014年4月17日より実施する。

【参考】 東京都中学校体育大会実施要項

1 目的

東京都中学校体育大会は、中学校教育の一環として、生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上と、スポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な生徒を育成する。また、スポーツの交流を通じて各学校間の親睦を図り、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。

2 大会の運営

- (1) 運営に関する基本事項は、東京都中学校体育連盟が決定する。
- (2) 大会運営は東京都中学校体育連盟競技専門部によって行われる。
東京都中学校総合体育大会については、東京都教育委員会・東京都中学校体育連盟が主催する。

(3) 競技の運営は、全国中学校体育大会、関東中学校体育大会基準に準ずる。

3 大会の名称 省略

4 実施競技 省略

5 会期 省略

6 競技内容・方法

各大会とも、本実施要項及び各競技専門部作成の競技専門部別実施要項による。

7 参加資格

(1) 東京都中学校体育連盟本部加盟、各競技専門部登録の中学校に在学している者。

①中高一貫校及び小中一貫校の生徒は、中学部入学（小学校入学後7年目）から3年間の中等課程に在籍している者とする。

(2) 本実施要項及び各競技専門部別各大会競技実施要項により東京都中学校（競技別）体育大会の参加資格を得た者。

(3) 参加資格の特例 省略

(4) 複数校の合同チームによる参加は認めない。

◎参考資料「各競技種目エントリー数」

バドミントン 1チーム人数 8人（必要最低人数 5人）

(5) 全国・関東大会への参加について

バドミンゴンの合同チームの参加は認められていない。

8 監督・引率規定

(1) 参加生徒の監督・引率は出場校の校長・教員とする。

①小中一貫校において、都教委より小中兼務の発令を受けている小学校教諭は、中学校の教諭と考える。

②ここでいう教諭とは、公立学校の都費負担教諭のことであり、地教委による採用者は当てはまらないこととする。再任用教員は可とする。

(2) 監督・引率者の特例

東京都中学校体育大会の個人種目への生徒参加について、日常指導している顧問が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、下に示す「東京都中学校体育大会監督・引率細則」により、校長が承認した者の引率による参加を認める。但し、細則による規定は、東京都中学校体育連盟が主催する春季大会、夏季（選手権）大会、秋季（新人）大会の支部大会、ブロック大会と都大会に適用する。

※ 東京都中学校体育大会監督・引率細則

本細則が適用されるのは、学校事情により、日常指導している顧問が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限るもので、安易に校長・教員以外の監督・引率を認めるものではない。

(1) 校長・教員以外の引率を認める個人種目は、次の13種目である。

⑦ バドミントン

※ 団体戦は、個人種目として取り扱わない。

(2) 校長・教員以外の引率者には、監督の資格を認めない。

この際の監督は、支部の当該競技専門委員又は都中学校体育連盟当該競技専門部役員等とし、校長が、その旨を依頼した者。(校長が依頼書を3部事務局に提出する。)

この場合の監督の任務は、会場における監督者会議への代理出席とその内容の伝達及び抗議に関わること(大会出場中の安全管理も含む)のみとする。

(3) 引率者は、次の中から校長が認めた者とする。

① 当該校の学校職員

② 当該校の部活動を指導している外部指導者 (IDカードを提示する)

③ 当該生徒の保護者

※ 個人種目に該当する…バドミントン…のダブルスの場合は、2名の生徒に1名の引率者(保護者)が付くことで良いこととする。

(4) 大会に出場するための責任は学校にある。したがって、その手続き(大会参加に、必要な書類の記入及び提出、引率者・生徒への指導等)は校長が行う。

(5) 引率者として相応しくないと大会本部が判断した場合、退場を命じ生徒は失格となることもある。

(6) 引率上の留意点・大会会場における留意点

① 引率上の留意点等

ア 引率時は、公の交通機関を利用する。

イ 引率上の責任は引率者にあるので、引率者・生徒共に任意の傷害保険等に加入する。加入手続きは保護者が行き、費用についても保護者負担とする。

ウ 引率に係る費用は、保護者が負担する。

エ 生徒の服装・持ち物等については、各学校のきまりに従う。

オ 大会の結果と、帰校報告を当日中に顧問等各学校から指示された者に行う。

カ 宿泊する場合は、学校(大会本部)より指示された宿舎とする。

キ その他、引率に必要な事項を指導する。

② 大会会場における留意点等

ア 大会要項を遵守し、責任ある行動をとる。

イ 各競技会場の使用上のきまりに従う。

ウ 打合せ会等に参加し、大会運営に協力する。

エ ゴミ等は持ち帰りを原則とするが、会場使用規定に従う。

オ 抗議及び問い合わせは、校長が依頼した監督に連絡を取る。

(7) 外部指導者の規程

- ①外部指導者とは、当該校長が、人格、指導面において優れていると認めた者（成人）であり学校の教育方針に基づき、顧問教員の指導計画に従い、日頃から指導にあたっており、公式試合の遂行ができる者のことをいう。また、事前に校長との間で、外部指導者として契約が文書でなされていること。
- ②申請にあたっては、大会ごとの申し込み用紙の外部指導者欄に記入すること。
- ③外部指導者の身分保障については、当該校が責任を負うものとする。
- ④規則違反、不適切な言動等があったときは、不適切者として会長又は競技専門部長から当該校の校長に連絡し、資格を取り消す。
- ⑤中学校の教員は、外部指導者として認めない。
- ⑥この規程以外のことは、各競技専門部の規程及び大会要項の通りとする。

(8) その他

- ①全国中学校体育大会の出場規定では、バドミントンについて外部指導者の引率を認めている。但し、監督の資格は認めていない。
- ②関東中学校体育連盟が主催する大会においてバドミントンは保護者引率で参加できる。
- ③引率上の細目については、各競技専門部において別に定める。
- ④当該競技専門部においては、出場許可証に引率者が校長・教員以外の場合、ア学校職員
イ外部指導者 ウ保護者のいずれかであることを明記できる欄を設け確認できるようにする。

2016年度 大会実施要項

大会名

- (1) 第33回東京都中学校バドミントン春季大会
- (2) 第55回東京都中学校総合体育大会・第63回バドミントン選手権大会 兼 第47回関東大会予選
- (3) 第59回東京都中学校バドミントン新人大会

主催・主管・期日・会場・参加数・申込期日

別表の通り

3.種目

男子団体・女子団体・男子シングルス・女子シングルス・男子ダブルス・女子ダブルス

4.競技規則

現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判員規程及び都中体連バドミントン部大会実施上の規定による。

5.競技方法

原則としてトーナメントにより行う。すべての大会で順位決めのため、3位決定戦を行う。ただし、春季大会・新人大会では3位が同一ブロックの場合は行わない。

団体戦は、5名以上8名以内で構成した学校対抗戦とする。1対抗は複1・単・複2の順でいずれか2点先取で勝敗を決定する。1選手は1対抗に1回のみ出場できる。(単複兼ねられない)

6.参加資格

東京都中学校体育連盟バドミントン部加盟校の生徒で、各ブロックの代表と認められたものとする。ただし、新人大会には3年生は参加できない。個人戦の参加は一人一種目とする。

会場枠として、会場を確保した者の所属校、所属地区またはブロックから、当該会場で行われる種目に各1本ずつ参加できる。

氏名、学校名がプログラムやホームページに掲載されることを了承すること。

7.監督・引率者

監督・引率者は、当該校の校長または教員とする。個人戦の引率については、中体連の規定に基づき学校長が認めた者も可とする。詳細は大会実施上の規定による。

8.シャトル

ヨネックス・メトロ 2社の、検定水鳥球とする。

9.参加費

団体戦 1校男女各 5,000円 シングルス 一人1,000円 ダブルス 一組1,500円

10.申し込み

各ブロック委員長または副委員長が、参加費を添えて常任委員会に持参し申し込む。委員長・副委員長が、出席できない場合は、そのブロックの専門委員が代わって申し込む。

また、申し込み期日前日の正午までに、申込書を所定のメールアドレスに送信する。

11.組み合わせ

原則として、申込期日に常任委員会を開催し、常任委員が組み合わせを作成する。

大会期日・会場等一覧

別表

大会名	主催(主管)	期日	種目	会場	参加数	申込期日
第33回 春季大会	都中体連 (バドミントン部)	5/29 (日)	団体	福生市中央体育館	ブロック各4	5/24 (火)
		6/ 5 (日)	個人	小金井市総合体育館	新人大会ベスト4 はそのブロックに プラス1 ★会場枠+1	
第55回 都総体 第63回 選手権大会 第47回 関東大会予選	都教委 都中体連 (バドミントン部)	7/25 (月)	団体	立川市民泉体育館	ブロック各4	7/22 (金)
		7/28 (木)	個人	葛飾区総合スポーツセンター	春季大会ベスト8 はそのブロックに プラス1 ★会場枠+1	
第59回 新人大会	都中体連 (バドミントン部)	11/19 (土)	団体	板橋区立上板橋体育館	ブロック各4	11/15 (火)
		11/23 (水)	個人	稲城市総合体育館	選手権大会ベスト 4はそのブロック にプラス1 ★会場枠+1	

※都中体連主催以外の大会日程

全日本ジュニア選手権大会東京都予選会	8月11日(木)	会場：稲城市総合体育館
第15回東京都冬季大会	1月21日(土)	会場：板橋区立上板橋体育館
	29日(日)	会場：未定

各中学校長様
バドミントン部顧問様

東京都中学校体育連盟会長 大河原 嘉朗
都中体連バドミントン部部长 渡辺 英俊

平成28年度

第33回東京都中学校バドミントン春季大会

実施要項

- 1, 主催 東京都中学校体育連盟
- 2, 後援 東京都バドミントン協会
- 3, 主管 都中体連バドミントン競技部
- 4, 協賛 ヨネックス(株) (株)メトロレジャー
- 5, 期日 5月29日(日) 福生市中央体育館 団体戦 9:00開場 9:15 開会式
会場 6月 5日(日) 小金井市総合体育館 個人戦 9:00開場 9:15 開会式
- 6, 種目 男女団体、及び個人戦単・複(一選手が単複に重複して参加できない)
- 7, 競技規則 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判員規程ならびに大会運営規定に準じる
- 8, 競技方法 トーナメントにより優勝を決定する 3位決定戦は行う
- 9, 参加資格 都中体連バドミントン部加盟校の生徒で、各ブロック代表と認められた生徒氏名、学校名がプログラムやホームページに掲載されることを了承すること。
- 10, 参加の数
 - ・各ブロック男女各4チーム(人・組)
 - ・新人大会ベスト4のブロックはプラス入賞数
 - ・会場枠該当校はその種目プラス1
- 11, 参加申込 各ブロックの委員長が組み合わせ会に申込書を持参し、申し込む
- 12, 参加費用 団体 1校男女各5,000円 単 1,000円 複 1,500円
- 13, 組合せ会 常任委員会にて責任抽選で行う
[5月24日(火) 15:00～ 杉並区立高円寺中学校]
- 14, 表彰 各種目四位までに賞状および賞品を授与する
- 15, シヤトル ヨネックス・メトロ 2社の検定水鳥球とする
- 16, その他
 - ・各校の校長または教員が引率し、受付時間内に参加確認書を提出し受付を済ませること。個人戦の引率については、中体連の規定に基づき学校長が認めた者も可とする。
 - ・外部指導者がベンチ入りを希望する場合は、参加確認書に氏名を記入し、運動部指導者証(IDカード)を着用すること。なおIDカードには写真を貼付すること
 - ・上下履きの区別をし、礼儀や態度をしっかりとすること。
 - ・服装は日本バドミントン協会審査合格品とする。関東記念ウェアの着用は認める。背中に規定の校名をつける。
 - ・ゴミは各自、必ず持ち帰ること。
 - ・詳細は「バドミントン大会実施上の規定」に従って行動すること。
 - ・参加校は審判団として選手を含め4人を用意する

各中学校長様
バドミントン部顧問様

東京都中学校体育連盟会長 大河原 嘉朗
都中体連バドミントン部部长 渡辺 英俊

平成28年度

第55回東京都中学校総合体育大会 第63回東京都中学校バドミントン選手権大会 第47回関東中学校バドミントン大会予選

実施要項

- 1, 主 催 東京都中学校体育連盟
- 2, 後 援 東京都バドミントン協会
- 3, 主 管 都中体連バドミントン競技部
- 4, 協 賛 ヨネックス(株) (株)メトロレジャー
- 5, 期 日 7月25日(月) 立川市民泉体育館 団体戦 9:00開場 9:15 開会式
会 場 7月28日(木) 葛飾区総合スポーツセンター 個人戦 9:00開場 9:15 開会式
- 6, 種 目 男女団体、及び個人戦単・複(一選手が単複に重複して参加できない)
- 7, 競技規則 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判員規程ならびに大会運営規定に準じる
- 8, 競技方法 トーナメントにより優勝を決定する 3位決定戦は行う
- 9, 参加資格 都中体連バドミントン部加盟校の生徒で、各ブロック代表と認められた生徒氏名、学校名がプログラムやホームページに掲載されることを了承すること。
- 10, 参加の数
 - ・各ブロック男女各4チーム(人・組)
 - ・春季大会ベスト8のブロックはプラス入賞数
 - ・会場枠該当校はその種目プラス1
- 11, 参加申込 各ブロックの委員長が組み合わせ会に申込書を持参し、申し込む
- 12, 参加費用 団体 1校男女各5,000円 単 1,000円 複 1,500円
- 13, 組合せ会 常任委員会にて責任抽選で行う
[7月22日(金) 12:00～ 東京体育館 第二会議室]
- 14, 表 彰 各種目四位までに賞状および賞品を授与する
- 15, シヤトル ヨネックス・メトロ2社の検定水鳥球とする
- 16, その他
 - ・各校の校長または教員が引率し、受付時間内に参加確認書を提出し受付を済ませること。個人戦の引率については、中体連の規定に基づき学校長が認めた者も可とする。
 - ・外部指導者がベンチ入りを希望する場合は、参加確認書に氏名を記入し、運動部指導者証(IDカード)を着用すること。なおIDカードには写真を貼付すること。
 - ・上下履きの区別をし、礼儀や態度をしっかりとすること。
 - ・服装は日本バドミントン協会審査合格品とする。関東記念ウェアの着用は認める。背中に規定の校名をつける。ゴミは各自、必ず持ち帰ること。
 - ・詳細は「バドミントン大会実施上の規定」に従って行動すること。
 - ・参加校は審判団として選手を含め4人を用意する

平成28年4月21日

各中学校長様
バドミントン部顧問様

東京都中学校体育連盟会長 大河原 嘉朗
都中体連バドミントン部部長 渡辺 英俊

平成28年度

第59回東京都中学校バドミントン新人大会

実施要項

- 1, 主 催 東京都中学校体育連盟
- 2, 後 援 東京都バドミントン協会
- 3, 主 管 都中体連バドミントン競技部
- 4, 協 賛 ヨネックス(株) (株)メトロレジャー
- 5, 期 日 11月19日(土)板橋区立上板橋体育館 団体戦 9:00開場 9:15 開会式
会 場 11月23日(水)稲城市総合体育館 個人戦 9:00開場 9:15 開会式
- 6, 種 目 男女団体、及び個人戦単・複(一選手が単複に重複して参加できない)
- 7, 競技規則 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判員規程ならびに大会運営規定に準じる。
- 8, 競技方法 トーナメントにより優勝を決定する 3位決定戦は行う
- 9, 参加資格 都中体連バドミントン部加盟校の生徒で、各ブロック代表と認められた生徒氏名、学校名がプログラムやホームページに掲載されることを了承すること。
- 10, 参加の数
 - ・各ブロック男女各4チーム(人・組)
 - ・選手権大会ベスト4のブロックはプラス入賞数
 - ・会場枠該当校はその種目プラス1
- 11, 参加申込 各ブロックの委員長が組み合わせ会に申込書を持参し、申し込む
- 12, 参加費用 団体 1校男女各5,000円 単 1,000円 複 1,500円
- 13, 組合せ会 常任委員会にて責任抽選で行う
[11月15日(火) 15:00～ 杉並区立高円寺中学校]
- 14, 表 彰 各種目四位までに賞状および賞品を授与する
- 15, シヤトル ヨネックス・メトロ 2社の検定水鳥球とする
- 16, その他
 - ・各校の校長または教員が引率し、受付時間内に参加確認書を提出し受付を済ませること。個人戦の引率については、中体連の規定に基づき学校長が認めた者も可とする。
 - ・外部指導者がベンチ入りを希望する場合は、参加確認書に氏名を記入し、運動部指導者証(IDカード)を着用すること。なおIDカードには写真を貼付すること
 - ・上下履きの区別をし、礼儀や態度をしっかりとすること。
 - ・服装は日本バドミントン協会審査合格品とする。関東記念ウェアの着用は認める。背中に規定の校名をつける。
 - ・ゴミは各自、必ず持ち帰ること。
 - ・詳細は「バドミントン大会実施上の規定」に従って行動すること。
 - ・参加校は審判団として選手を含め4人を用意する

中学校長様
バドミントン部顧問様

東京都中学校体育連盟会長 ○○ ○○
同 ○ブロック長 ○○ ○○
同 ○ブロック長 ○○ ○○
同 ○ブロック長 ○○ ○○
同バドミントン専門部部长 ○○ ○○

平成〇年度 東京都中学校バドミントン春季・選手権・新人大会
○ブロック(○, ○, ○合同ブロック)予選会実施要項

- 1 主催 東京都中学校体育連盟
- 2 主管 東京都中学校体育連盟○ブロック(○, ○, ○合同ブロック)バドミントン部
- 3 後援 東京都バドミントン協会
- 4 期日会場 平成〇年〇月〇日(○)団体戦 ○時開場 ○時開会式
平成〇年〇月〇日(○)個人戦 ○時開場 ○時開会式
- 5 種目 男女各団体、および個人戦単・複(一選手が単複に重複して参加できない)
- 6 競技規則 平成〇年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規定及び同公認審判員規定による。
- 7 競技方法 トーナメント方式により行う。
順位決定戦(5位等)詳細の件を記述。
得点(減点ポイントで実施の場合)について記述。
団体戦は複2・単1の対抗とし、複・単・複の順に行う。
(同一選手が単と複または複と複を兼ねて出場することはできない)
- 8 参加資格 都中体連バドミントン部の加盟校の生徒で、氏名・学校名がプログラムやホームページ等に掲載されることを了承すること。(新人大会の場合は1、2年生であることを記述)
- 9 参加数 団体戦は各校男女1チーム・個人戦は各校〇人(組)
プラス数(前回大会ベスト4入賞数等・運営校・会場校)について記述
- 10 組合せ ○月〇日(○) ○時～ 会場: ○○
- 11 参加申込 ○月〇日(○) ○時までに○○で申し込む。
必要に応じてメールアドレスまたはFAX番号を明記。
- 12 参加費 団体戦 1チーム5,000円
個人戦 単1名 1,000円 複1組 1,500円
- 13 表彰 各種目〇位まで賞状を授与する。各種目〇位以上には賞品を授与する。
団体戦優勝校に優勝杯(持ち回り)を授与する。
- 14 シャトル 水鳥球(一・二種検定球)で行う。
- 15 その他
 - ・引率者は〇時〇分までに受付をすませること。(団体戦の引率は、校長または教員、個人戦の引率が校長または教員以外の場合は、引率規定に従っていること。また、監督を依頼すること。監督規定参照)
 - ・開会式前には、引率した教職員が必ず受付を済ませること。
 - ・上下履きの区別、礼儀、態度を正しくすること。
 - ・服装、背面の校名については大会実施上の規定を遵守すること。
 - ・本部の指示に従って審判を担当すること。審判は原則として敗者校審判とする。(〇名)
 - ・ビン、カン類、菓子類、その他不要物は持参しない。ゴミは必ず持ち帰る。
 - ・参加にあたっては都中体連バドミントン部の総会資料を熟読すること。
 - ・やむを得ない事情により大会を実施できない場合、日程を変更することもある。
 - ・都大会への出場本数を記述。
 - ・その他ブロックで特別に必要なことを明記。

(用紙のサイズはA4又はB4又はA3)

(平成17年2月24日)

(平成26年4月17日一部改訂)

A 申し合わせ事項の対象となる大会

東京都春季大会 東京都選手権大会(東京都総合体育大会) 東京都新人大会

B 参加本数

- ①団体・単・複とも、各ブロックの参加数は4本とする。
- ②選手権大会では、直前の春季大会で、ベスト8に入賞したブロックに、その本数分を加算し、上位から加算本数分をシードとする。
- ③新人大会・春季大会では、直前の選手権大会・新人大会で、ベスト4に入賞したブロックに、その本数分を加算し、上位から加算本数分をシードとする。
- ④申し込みにあたっては、各ブロックごとに、上位からシード分を選手権大会ではシード1位～シード8位、春季大会・新人大会ではシード1位～シード4位、シード分以外を1位～4位として申し込む。
- ⑤会場枠として、会場を確保した者の所属校、もしくは所属地区またはブロックから、当該会場でおこなわれる種目に各1本参加できる。会場枠の申し込みは、当該ブロック長が行う。常任委員会で、会場枠の選考に関して説明を求めることがある。

C 組み合わせの基本方針

- ①各ブロックのシードを含めた上位2本は1/2に分ける、また、上位4本は1/4に分ける。5本目以下は1/8に分ける。その際、できる限り左右のバランスを配慮する。ただし、春季大会・選手権大会ではシード順位を優先し、入れ替えは行わない。
上位2本は1/2、上位4本は1/4に分ける このことは同列なので、くじを引いて優先を決定する。ただし選手権大会を除く。
- ②参加に欠員があった場合は、その部分を棄権扱いとし、その位置をシード下の位置とする。その順序は欠員のあった人数に応じて、第1シードから第4シードの順とする。Fブロックからの参加

に欠員があった場合は上位扱い分から除いていく。

③同一校が片寄っても変更はしない。

④新人大会では、全日本ジュニア大会への参加者は1/2の山に分ける。

D シードについて

①春季大会・新人大会では新人大会・選手権大会の上位4本、選手権大会では春季大会の上位8本に入賞したブロックをシードする。

②前大会の1位～4位のブロックを順に第1シード～第4シードとする。

③選手権大会では春季大会ベスト8のブロックを5～8に抽選で入れる。

④新人大会で4位以内に入賞し、春季大会に学校行事のために出場できなかった団体・個人が、選手権大会に、新人大会でのブロックの入賞数以上の順位で参加の場合、11・12の位置に抽選で入れる。ただし、シードに該当する場合はシードを優先する。

E シード以外の組み合わせについて

①各ブロックの1位を抽選により、春季大会・新人大会では5・6・7・8・12、選手権大会では9・10・11・12・13(Fブロックが4本参加の場合は14まで)に入れる。

②各ブロックの2位を1位の反対の1/2に抽選により入れる。ただし外シードがある場合は1/4で抽選を行う。

③各ブロックの3位・4位を、抽選によって残った番号に入れる。2本を同時に引き、番号の小さい方を3位、大きい方を4位とする。

④会場枠は第1～第4シード下の枠に抽選で入れる。

新人大会・春季大会では、最初に会場枠を17～20から抽選する。25～28のうち会場枠と同じ1/4にある番号を組み合わせに加える。

選手権大会では、会場枠以外の参加が32本の場合は、最初に会場枠を33～36から抽選する。37～40のうち会場枠と同じ1/4にある番号を組み合わせに加える。31本以下の場合は29～32のうち、空いている番号から抽選し、残りは組み合わせから除外する。その際、左右の数のバランスが良くなるように配慮する。

F その他

①上記の規定をもっても解決できない事態が生じた場合は、常任委員会で、その都度協議をして決定する。

②この規定は、2014年4月17日より発効する。

団体戦 参加確認書

(選手登録用紙)

(男子・女子)

大会名	第 回 東京都中学校バドミントン				大会
期 日	年 月 日	ブロック			
登 録 選 手 名					
1		年	5		年
2		年	6		年
3		年	7		年
4		年	8		年

監 督 (教員)		コ ー チ (教員)	
外部指導者	※ここは本部記入用です。記入しないで下さい。 IDカード(外部指導者証番号)・申請中		
助言者			

上記の通り参加します。

学校名 _____

校長名 _____ 公印

- ※ 選手名はフルネームで記入してください。
- ※ 登録選手以外は、試合に出場できません。提出後の選手変更はできません。
- ※ 複数の教員で引率する場合は、1名を監督、他方をコーチとして登録してください。
- ※ 大会当日、受付に提出して、監督証・コーチ証(・助言者証)を受け取り、必ず着用してください。
- ※ 外部指導者は、運動部指導者証(IDカード)を提示し、必ず着用してください。申請中の場合は、申請書のコピーを提示し、外部指導者証を受け取ってください。

個人戦 参加確認書 (男子・女子)

大会名		第 回 東京都中学校バドミントン 大会					
期 日		年 月 日		ブロック			
シングルス	1位		年	ダブルス	1位		年
	2位		年		2位		年
	3位		年		3位		年
	4位		年		4位		年
	位		年		位		年
	位		年		位		年
	位		年		位		年
	位		年		位		年

監督 (教員)		コーチ (教員)	
外部指導者	※ここは本部記入用です。記入しないで下さい。 IDカード(外部指導者証番号)・申請中		
助言者			
引率者氏名	引率者の身分	学校職員・外部指導者・保護者	

上記の通り参加します。

学校名 _____

校長名 _____ 公印

- ※ 選手名は該当のところのみフルネームで記入し、フリガナを付けてください。
- ※ 複数の教員で引率する場合は、1名を監督、他方をコーチとして登録してください。
- ※ 大会当日、受付に提出して、監督証・コーチ証(・助言者証)を受け取り、必ず着用してください。
- ※ 外部指導者は、運動部指導者証(IDカード)を提示し、必ず着用してください。申請中の場合は、申請書のコピーを提示し、外部指導者証を受け取ってください。
- ※ 引率者氏名は、校長・教員以外が引率するときのみ記入してください。
[大会実施上の規定 2-(2)]による

審判委員会《平成27年度 事業報告》

1. 運営に関して

- (1) 初回戦の審判・・・シード校を中心に入れた。複数のシードを持つ学校があった場合は1面のみで依頼するように配慮した。他は試合時間が一番遅い学校から順にお願いするようにした。どの学校も快く引き受けてくれた。
- (2) 準決勝、決勝、3決の線審・・・ベスト8で敗退した学校に複数回担当してもらった。割り振りは競技部。
- (3) 要項に審判団4名を用意することと明記してもらった。
- (4) 教員審判・・・春季、選手権、新人に加え、冬季も準決勝、決勝、3決を教員審判で行った。審判部だけでなく大会委員の他の先生方の協力を得た。競技委員長より審判手帳への押印を始めてもらった。
- (5) 会場・コートに関して・・・
 - *大会開始前に計測器でネットの高さを直した。試合の合間に緩んでいるときは張り直した。
 - *ラインジャッジの椅子は原則として主審から見て右手前と左奥に配置した。
 - *コーチ席をエンドライン側に配置する場合、ラインジャッジの椅子から離して置くようにした。
 - *コーチ席背もたれとライン間を2m空けるようにした。
 - *ポストとネットの結び目に隙間ができるときはスズランテープで補強した。

2. 主審に関して

- (1) シャトルの交換に関して・・・シャトル交換の際、主審はコートを離れないようにさせ、線審に頼んで本部へ交換に来させた。また、競技を中断しないために、予備のシャトルが残り1個になったらインターバルの時間を使って交換するようにさせた。
- (2) サービスフォルトに関して・・・アヴァブザハンド、アヴァブザウエストのフォルトは、判断に迷う微妙な場合は1度注意を与える（「次からはフォルトにします」と伝える）ようにした。
- (3) ストップウォッチの使用に関して・・・インターバルでストップウォッチを使用し「20秒」のコールをするよう開会式で告げた。

3. その他、競技中の対応について

- (1) 試合中のけが・・・生徒主審には本部教員を呼ぶよこと、コーチ席の顧問等がコート内に勝手に入らないようにすることを開会式で注意した。競技中に足のけいれんは、競技役員長の判断でけがと認めずプレーを続行させた。
- (2) 主審への質問・・・団体戦の場合は監督または当該プレーヤー、個人戦の場合は当該プレーヤーが丁寧に質問するよう指導した。
- (3) コーチ席・・・同一校の試合が複数のコートで行われている場合、コーチ席の移動はラリー間にするよう開会式で伝えた。

4. その他

- (1) 公認審判員規定の理解と指導について・・・各校で生徒向けに配布できるように主審のコールの仕方、スコアシートの記入見本を総会冊子やプログラムに掲載した。
- (2) 顧問の3級審判資格の取得に関して・・・各区市協会主管の公認審判員資格検定会のお知らせを都中体連バドミントン部のホームページに掲載した。

審判委員会《平成28年度 事業計画》

1. 運営に関して

- (1) 準決勝、決勝、3決の試合はベスト8で敗退した学校に複数回担当してもらう。(特に団体戦)
- (2) 敗者校審判制なので、参加校は審判団として選手を含め4人を用意するよう要項に記載する。
- (3) 教員審判・・・春季、選手権、新人、冬季大会の準決勝、決勝、3決は教員が主審を務める。審判部員を増員したい。
- (4) 会場・コートに関して
 - *大会開始前にネットの高さを計測する。途中、緩んでいるときは張り直す。
 - *線審の椅子は右手前と左奥に配置する。
 - *コーチ席をエンドライン側に配置する場合、線審の椅子から離して置く。
 - *コーチ席背もたれとライン間を2m空ける。
 - *ポストとネットの結び目に隙間ができるときはスズランテープで補強する。
 - *会場担当校(地区・ブロック)生徒に適宜モップがけを依頼したい。(シャトル片の掃除のため)
- (5) 短縮ポイントの確認
ブロックや地区大会で短縮ポイントを採用する際には、競技規則に則って、「21点1ゲームマッチ」または「15点3ゲームマッチとして延長は21点まで」とする。

2. 主審・線審に関して

- (1) 審判団の準備が出来たら、選手のたちの練習を止めさせ、試合を開始する。
- (2) サービスフォルト・・・判断に迷う微妙な場合は1度注意を与える(「次からはフォルトにします」と伝える)ようにさせ、プレーヤーの自覚を促すようにしたい。
- (3) 不品行な振る舞い・・・過度な奇声を発するプレーヤーには注意を与えるよう指導する。
- (4) シャトルの交換・・・プレーを中断させないために、予備のシャトルが残り1個になったら本部に交換に行くよう指導する。「主審はコートを離れない」「線審に頼んで交換」「インターバルの時間を使って交換」を徹底させる。
- (5) スコアシート・・・上部プレーヤー名横の「ライト(R)」「レフト(L)」の記入欄に○を付けるようにさせる。ダブルスの最初のサービス・オーバー後の点数の記入欄に間違いが多いので注意を促す。生徒審判が本部に報告した時に記入の間違いがあれば、生徒本人に訂正させるよう心がける。
- (6) アウトの場合はジェスチャーとともに「アウト」と声を出してジャッジするように指導する。

3. 監督・コーチに対する対応について

- (1) 服装・・・マッチ(試合)にふさわしい服装で臨むこと。シャツ。ポロシャツ・ブラウス・ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチスタイル、バミューダ、ショーツ、スリッパとサンダルは禁止とする。
- (2) アドバイス・・・団体戦で2面に開く場合や個人戦で同一校の選手が複数のコートでプレーしている時、当該選手にアドバイスをするにはそのコートのコーチ席に着座するように指導する。会場の広さ等の関係でコーチ席を設置しない場合はインターバル以外のコーチングはなしとする。
- (3) チェンジエンス時・・・インターバルでチェンジエンスせずにコーチングしている場面があるので指導する。
- (4) モバイル機器の使用・・・モバイル機器(iPad・携帯電話等)使用による試合中のアドバイス・コーチングは禁止。コーチ席で携帯での通話はもちろんのこと、呼び出し音が鳴った場合でも競技役員長からの「警告」となる。
- (5) 試合中のけが等への対応・・・競技中に足のけいれん等により競技続行が不能になった場合、コーチ席の顧問等がコート内に勝手に入ることをないよう指導する。本部の教員を呼ぶように指導する。
- (6) 審判への質問・・・団体戦の場合は監督、当該プレーヤー個人戦の場合は当該プレーヤーが質問するよう指導する。

4. 公認審判員規定の理解と審判技術の指導について

ブロック、地区大会のプログラムに掲載用、各校で配布用に「主審のコールの仕方」をホームページにアップしてある。地区、ブロック大会でもできるだけ都大会と同じように行ってほしい。

5. 3級審判員資格取得への普及活動

- (1) 都協会の審判検定会の情報をホームページに掲載して、資格取得の為の普及を図る。各ブロックの専門委員の中に複数の有資格者を配置したい。顧問は「都中体連バドミントン部」で日バに登録できる。
- (2) 都バドミントン協会では取得希望者数の把握が困難なので、各支部(区市町村)で登録している顧問で審判検定を希望される方は、各支部を通じて都バドミントン協会に検定会の開催を依頼してください。

種目	試合番号	サーター	選手名・所属	スコア	選手名・所属	コート	審判校名
男子団体	1	複2	佐藤 中 / 本郷一中	21-11 29-30 5-10	鈴木 木橋 / 武蔵二中	L・R	中村中
	1回戦						

勝者名を○で囲む。

田中の欄の横に1, 2, 3...と続けて書く間違いが見受けられる。

21点目の次のマスは空欄にする。

最初に審判から見て右にいる側はR、左にいる側はLを○で囲む。

両端に得点を記入し、得点の間に「/」を入れ○で囲む。

延長ゲームになる時は20-20のところまで「/」を入れる。隣のマスは見やすくするため次の行に21点目を記入しましょう。

最初のサーバーはゲームごとに変えられるので確認して下さい。

第一ゲーム	佐藤 (本郷一中)	R 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	田中 (本郷一中)	S 0																					
	鈴木 (武蔵二中)	S 0							2			4							10				
	高橋 (武蔵二中)	S 0																					
第二ゲーム	佐藤 (本郷一中)	S 0	1	2	3	4	5	6															
	田中 (本郷一中)	R 0																					
	鈴木 (武蔵二中)	R 0																					
	高橋 (武蔵二中)	S 0																					
第三ゲーム	佐藤 (本郷一中)	S 0	1	2	3	4	5																
	田中 (本郷一中)	R 0																					
	鈴木 (武蔵二中)	R 0																					
	高橋 (武蔵二中)	S 0																					

勝者署名 佐藤、田中

主審署名 溝口 千里

コール時間 9 : 15

チェック時間 9 : 41

スコアシート

平成27年度 東京都新人大会

東京都中学校体育連盟バドミントン部

種目	試合番号	オーダー	選手名・所属	スコア	選手名・所属	コート	審判校名
女子シングルス	30	① R	伊藤 藤 西大和六中 / 江戸川	24 — 22 — 18 — 0	山 本 本町五中 / 安代	② R	2 赤一中
	決勝						

第一ゲーム	伊藤	S	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	山本		0	1		2	3	4	5	6	7	8	9		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			21	22	23	24	24	22																	

見やすくするため次の段につづきは書きましょう。

第二ゲーム	伊藤	S	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	山本		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	11	12	13	14	15	16	17	18	18	
			0	1	2	2																		

現行の書き方ではシングルスの場合、Rは入れない。得点の0は両者に入れる。

21点目の次のマスは空欄で何も書かない。

●警告の対象となる行いの例：
 * ネット、床をラケットでたたく * なかなかレシーグにつかない。 * 主審の許可なく水を飲んだ。
 →異なる種類の警告でも警告2回目はフォルトになる。(ダブルスではパートナーの分も含む)
 * 警告W、フォルトFや中断Sがあった時は、その得点の次のマスに記号を入れて下さい。
 ●ダブルス用のスコアシートでシングルス用のスコアをつける時は上段のみ使用する。

勝者署名 伊藤 主審署名 新井博幸 コール時間 15 : 00 チェック時間 15 : 26

主審のコールの仕方

- ① 最初のサービングサイドとレシービングサイドを決めるとき 「トス (じゃんけん) をしてください」
- ② プレーヤーを紹介するとき…省略
- ③ マッチ (試合) を始めるとき→「ラブ・オール、プレー」(「ファーストゲームラブオールプレー」とは言わない)
- ④ フォルトが起きたとき→「フォルト」(明らかなき場合は省略してよい)
レシーバーのフォルト→「フォルト、レシーバー」 サーバーのフォルト→「フォルト、サーバー」
- ⑤ レットにするとき→「レット」
- ⑥ サービングサイドがラリーに負けて、相手側のサービスになるとき
「サービス・オーバー」(必要なら、手で新しいサーバーと正しいサービスコートを指す)
- ⑦ スコアをコールするときの例
 - (1) サービングサイドのスコアが8、レシービングサイドのスコアが3 「エイト・スリー」
 - (2) 5対5の同点→「ファイブ・オール」
 - (3) 第1ゲーム (または第2ゲーム) で、一方のサイドのスコアが11点に達したとき(11-8の場合)→「(サービスオーバーのときは、「サービス・オーバー」と言ってから) 11-8、インターバル」
 - (4) 60秒のインターバルが40秒経過→「〜コート、20秒 (2回繰り返す)」
 - (5) インターバルが終わったら→「11-8、プレー」
 - (6) サービングサイドがあと1点でゲームが終了するとき(例20-14の場合) 「20ゲーム・ポイント・14」
 - (7) サービングサイドがあと1点でマッチ (試合) が終了するとき 「20 マッチ・ポイント・14」
 - (8) スコアが20点オールになったとき→「20オール」
 - (9) 一方のサイドのスコアが29点に達したとき(例29-28の場合) 「29ゲーム・ポイント (またはマッチ・ポイント)・28」
- ⑧ 第1ゲームが終了したとき
例 Xさん (A中学校) が21対18で勝った
「ゲーム (ストップウォッチをONにする)、ファースト・ゲーム・ワン・バイ・Xさん、A中学校、21-18 (1ゲーム目21対18でXさん、A中学校の勝ちです)」(最後の21点目はコールせず、シャトルがコートに着いた瞬間に「ゲーム」とコールする)
- ⑨ エンドを交替させるとき→「チェンジ・エンズ」
- ⑩ 120秒のインターバルで100秒経過したとき→「〜コート、20秒 (2回繰り返す)」
- ⑪ 第2ゲームを始めるとき「セカンド・ゲーム、ラブ・オール、プレー」
- ⑫ 第2ゲームが終了して、第3ゲームに入るとき
例 第1ゲームで負けたYさん (B中学校) が21対15で第2ゲームに勝った
「セカンド・ゲーム・ワン・バイ・Yさん、B中学校、21-15、ワン・ゲーム・オール」
- ⑬ 第3ゲームを始めるとき→「ファイナル・ゲーム、ラブ・オール、プレー」
- ⑭ 第3ゲームで、一方のサイドが11点になったとき
「11-?、チェンジ・エンズ、インターバル」、(移動後)「プレー」
- ⑮ マッチ (試合) が終わったとき
例 Xさん (A中学校) が21対18、17対21、21対10でマッチ (試合) に勝った
「マッチ・ワン・バイ・Xさん、A中学校、21-18、17-21、21-10 (この試合は、21-18、17-21、21-10で、Xさん、A中学校の勝ちです)」
- ⑯ 一方のサイドが棄権してマッチ (試合) が終了したとき
例 Yさんが棄権して、Xさんがマッチに勝った
「Yさん、B中学校、棄権。マッチ・ワン・バイ・Xさん、A中学校 (全スコア)」
- ⑰ 違反したサイドを呼んで
 - (1) 警告を宣告するとき→「ウォーニング・フォー・ミスコンダクト」
 - (2) フォルトを宣告するとき→「フォルト・フォー・ミスコンダクト」
- ⑱ 一方のサイドが失格してマッチ (試合) が終了したとき
例 Yさんが失格して、Xさんがマッチに勝った
「Yさん、B中学校、失格。マッチ・ワン・バイ・Xさん、A中学校 (全スコア)」
- ⑲ 線審が明らかに間違った判定をしたと認めたとき
シャトルがインのとき→「コレクション・イン」、シャトルがアウトのとき→「コレクション・アウト」

その他

- ① シャトル交換が必要かどうかは主審が決定します。(試し打ちはさせないでください)
- ② マッチ (試合) 中のけがや病気の場合、必要なら本部の先生をコートに呼びます。もし出血がある場合、出血が止まるまで、あるいは傷が保護されるまでゲームを遅らせます。その際、本部の先生が主審にプレー再開の指示をします。
- ③ 近隣のコートからシャトルが飛んできたとき、邪魔になったり、気をひかないようなら「レット」は、コールしなくてかまいません。

強化普及委員会

平成27年度活動報告

(1) 強化練習会

期日	開場	対象
8月3日(月)	稲城市総合体育館	関東大会出場者
8月28日(金)～30日(日)	駒澤運動公園体育館	アジア交流大会代表・推薦者
11月28日(土)	武蔵野市立第四中学校	関東オープン大会都選抜選手 及び都強化指定選手
29日(日)	調布市立第三中学校	同上
12月6日(日)	錦城高等学校	同上
20日(日)	武蔵野市立第三中学校	同上
23日(日)	府中市立第八中学校	同上
1月11日(月)	稲城市総合体育館	都新人大会上位者及び強化指定選手
3月6日(日)	府中市立第二中学校	都冬季大会上位者及び強化指定選手

(2) 都中学生バドミントン講習会

①主 旨 都中体連バドミントン部強化普及委員のもと、社会人、大学生、高校生、中学生と練習し、競技力を向上させ、関東大会、全国大会に備える。

②期 日 平成28年3月29日(火)～31日(木)

③会 場 山梨県河口湖周辺体育館

④内 容 ジュニアの基礎・基本をもとに指導者のもと、各種パターン練習、試合を行う。

⑤対象者 新人大会、冬季大会の結果を考慮しながら、各強化練習会によって男女各18名程度を選考する。

⑥日 程

3月29日(火)	9:00	11:00	12:00	18:00	18:30	22:00		
	集合	昼食	開講式	実技Ⅰ	夕食	ミーティング	就寝	
3月30日(水)	6:00	7:30	9:00	12:30	13:30	18:00	18:30	22:00
	起床	朝練	朝食	実技Ⅱ	昼食	実技Ⅲ	夕食	ミーティング
3月31日(木)	6:00	7:30	9:00	12:30	13:30	14:00	16:00	
	起床	朝練	朝食	実技Ⅳ	昼食	閉講式	体育館発	解散

(3) 全日本ジュニア東京都代表選手選考会

- ①主 旨 全日本ジュニアバドミントン大会
- ②期 日 平成27年8月10日(月)
- ③会 場 品川区日野学園
- ④参加者 各ブロック・ジュニア連盟より推薦された選手 男子4人 女子4人
- ⑤結 果 野田好希、榎本拓真、花嶋美佑、米倉瑚乃実

(4) 2015ジュニアスポーツアジア交流大会

- ①期 日 平成27年8月28日(金)～30日(日)
- ②会 場 駒澤オリンピック公園総合運動場体育館
- ③選手者 都選手権大会を考慮し推薦された選手 男子6人 女子6人
- ④結 果 東京A 7位 東京B 12位

(5) 第14回日本バドミントンジュニアグランプリ大会選手派遣

- ①期 日 平成27年11月20日(金)～22日(日)
- ②会 場 宮城県仙台市
- ③選 手 男子 小野里大夢、野田好希、小室直椰
女子 森 優紗、大石悠生、小林奈未
- ④戦 績 男子 予選リーグ敗退 女子 第3位

(6) 第20回関東オープン中学生バドミントン大会選手派遣

- ①期 日 平成27年12月26日(土)～28日(月)
- ②会 場 埼玉県久喜市
- ③選 手 男子 野田好希、小室直椰、榎本拓真、仁平浩太、江頭桜空
女子 米倉瑚乃実、花嶋美佑、加藤碧夏、田代流楓、山根千遥
- ④戦 績 男子6位 女子11位

(7) 第16回全日本中学生バドミントン選手権大会選手派遣

- ①期 日 平成28年3月20日(日)～22日(火)
- ②会 場 宮崎県宮崎市
- ③選 手 男子 野田好希、小室直椰、榎本拓真、江頭桜空
女子 米倉瑚乃実、西野久美子、齋藤 柚、大上朝佳
- ④戦 績 予選リーグ敗退

強化普及委員会

平成28年度事業計画

(1) 強化練習会

期日	会場	対象
8月1日(月)	稲城市総合体育館	関東大会出場者
8月26日(金)～28日(日)	駒澤運動公園体育館	アジア交流大会代表・推薦者
11月26日(土)	未定	関東オープン大会都選抜選手 及び都強化指定選手
27日(日)		同上
12月4日(日)		同上
18日(日)		同上
23日(金)		同上
1月7日(土)	稲城市総合体育館	都新人大会上位者及び強化指定選手
3月5日(日)	未定	都冬季大会上位者及び強化指定選手

(2) ～ (7) は協会主催

(2) 都中学生バドミントン講習会

- ①主 旨 都中体連バドミントン部強化普及委員のもと、社会人、大学生、高校生、中学生と練習し、競技力を向上させ、関東大会、全国大会に備える。
- ②期 日 平成29年3月29日(水)～31日(金)
- ③会 場 山梨県河口湖周辺体育館
- ④内 容 ジュニアの基礎・基本をもとに指導者のもと、各種パターン練習、試合を行う。
- ⑤対象者 新人大会、冬季大会の結果を考慮しながら、各強化練習会によって男女各18名程度を選考する。
- ⑥日 程

3月29日(水)	9:00	11:00	12:00	18:00	18:30	22:00		
	集合	昼食	開講式	実技Ⅰ	夕食	ミーティング 就寝		
3月30日(木)	6:00	7:30	9:00	12:30	13:30	18:00	18:30	22:00
	起床	朝練	朝食	実技Ⅱ	昼食	実技Ⅲ	夕食	ミーティング 就寝
3月31日(金)	6:00	7:30	9:00	12:30	13:30	14:00	16:00	
	起床	朝練	朝食	実技Ⅳ	昼食	閉講式	体育館発 解散	

(3) 全日本ジュニア東京都代表選手選考会

- ①主 旨 全日本ジュニアバドミントン大会
(9月16日～19日 愛媛県松山市)に出場する東京都代表選手を選考する。
- ②期 日 平成28年8月11日(木)
- ③会 場 稲城総合体育館
- ④参加資格 東京都バドミントン協会および日本バドミントン協会に加盟しており、下記のⅠ、Ⅱのいずれかの条件を満たす者。
 - Ⅰ 東京都中学校体育連盟バドミントン部に加盟している中学校の生徒であり、ブロックの推薦を受けた者
 - Ⅱ ジュニア連盟に推薦された小学生Ⅰ、Ⅱいずれも各ブロック男女各4人以内
- ⑤参加費 1000円(当日会場にて徴収する)

(4) 2016ジュニアスポーツアジア交流大会

- ①期 日 平成28年8月26日(金)～28日(日)
- ②会 場 駒澤オリンピック公園総合運動場体育館
- ③選手選考 都選手権大会を考慮しながら、男女各6人を選考する。

(5) 第15回日本バドミントンジュニアグランプリ大会選手派遣

- ①期 日 平成28年11月25日(金)～27日(日)
- ②会 場 宮城県仙台市
- ③選手選考 都選手権大会および全日本ジュニアバドミントン東京都選考会等の戦績をもとに男女各4人を選考する。

(6) 第22回関東オープン中学生バドミントン大会選手派遣

- ①期 日 平成28年12月24日(土)～26日(月)
- ②会 場 神奈川県小田原市
- ③選手選考 平成28年度強化指定選手をもとに男女各20人程度を強化練習会に参加させ、新人大会の結果を考慮しながら、男女5人以内を選考する。

(7) 第16回全日本中学生バドミントン選手権大会選手派遣

- ①期 日 平成29年3月25日(土)～27日(月)
- ②会 場 岡山県岡山市
- ③選手選考 平成28年度強化指定選手をもとに男女各20人程度を強化練習会に参加させ、冬季大会の結果を考慮しながら、男女4人以内を選考する。

東京都中学校体育連盟 バドミントン部 規約

第1章 名称および事務局

第1条 本部は、東京都中学校体育連盟バドミントン部と称し、事務局を部長の指定したところに置く。

第2章 目的および事業

第2条 本部は、東京都中学校体育連盟（以下都中体連と略す）の規定に基づいて、東京都中学校生徒の、バドミントン競技の発展普及につとめることを目的とする。

第3条 本部は、前条の目的達成のために、次の事業を行う。

- 1) 東京都中学校生徒の競技会の企画、運営。
- 2) 東京都中学校生徒の技能向上のための研究、および事業の企画、運営。
- 3) 東京都中学校生徒への指導、普及および審判技術向上のための研究、事業の企画、運営。
- 4) その他、目的達成に必要な事項。

第3章 構成および運営

第4条 本部は、都中体連規約に基づいて、都中体連に登録された中学校により構成し、各支部より2名選出された専門委員、および推薦専門委員により運営する。

第4章 組織

第5条 本部に、次の役員、委員、および各種委員会を置く。

- 1) 役員
部長 1名
副部長 若干名
- 2) 会計監査委員 2名
- 3) 専門委員会
- 4) 常任委員会
- 5) 実務委員会 1. 総務委員会 2. 競技委員会 3. 審判委員会 4. 強化普及委員会 5. 会計委員会
- 6) ブロック委員会

第6条 常任委員会は、役員、各ブロック委員会委員長・副委員長、および推薦常任委員により構成する。

第7条 実務委員会は、常任委員を委員長、副委員長とする。各委員長は、必要に応じ、各専門委員に対して、所属を要請することができる。

第8条 推薦専門委員は、いずれかの実務委員会に所属しなければならない。

第9条 ブロック委員会は、各ブロックに所属する専門委員により構成し、委員長・副委員長各1名および必要な役職をおく。ただし、委員長・副委員長は推薦常任委員を除く。

第5章 役員、各種委員の選出

第10条 役員、および会計監査委員は、選考委員会（前記の常任委員をあてる）の推薦に基づいて、専門委員会が選出する。

第11条 推薦専門委員、推薦常任委員は、選考委員会または常任委員会の推薦に基づいて部長が委嘱する。

第12条 各実務委員長、副委員長は、常任委員会の互選により選出する。

第13条 各ブロック委員長・副委員長は、各ブロック委員会の互選により選出する。

第14条 各役員、委員の任期は2年間とし再任を妨げない。欠員補充の場合の任期は前任者の残存期間とする。

第6章 役員、委員の任務

第15条 部長は本部を総括し、部を代表する。副部長は、部長を補佐し、部長に事故ある時は、その職務を代行する。

第16条 専門委員は、各所属支部バドミントン部の運営にあたる、またブロック委員として所属ブロックの運営に協力する。

第17条 専門委員は、各実務委員長の要請、および本人の希望により、各実務委員会に所属し活動する。

第18条 常任委員は、本部主催・主管の事業の運営にあたる。また、ブロック委員長・副委員長は、ブロック委員とともにブロック活動の運営にあたる。

第19条 会計監査委員は、本部の会計を監査し、専門委員会に報告する。

第7章 各種委員会の役割

第20条 専門委員会は、本部の最高決議機関とし、次の事項について審議する。

- 1) 役員、委員の選出
- 2) 年間事業計画
- 3) 予算、決算
- 4) 本規約の改廃
- 5) その他重要事項

第21条 常任委員会は、専門委員会の決定に基づいて、次の事項について審議、執行する。

- 1) 本部主催・主管の事業の企画、運営に関する事項。
- 2) 予算執行に関する事項
- 3) 専門委員会審議事項の原案作成。
- 4) その他、必要事項。

第22条 各実務委員会の職務は、次の通りとする。ただし、各実務委員会の決定事項は、常任委員会の承認を得て実行する。

1. 総務委員会

- 1) 専門委員会、常任委員会の開催企画、準備、通知。
- 2) 主催大会の総務に関する事項の処理。
- 3) 各委員会、各種事業（大会等）の記録の整理。
- 4) 広報活動
- 5) その他、必要事項

2. 競技委員会

- 1) 本部主催・主管競技会の要項作成、準備および競技運営の中心となる。
- 2) 次年度の各主催・主管競技会の企画、準備。
- 3) その他、必要事項

3. 強化普及委員会

- 1) バドミントン競技の普及および競技力向上についての指導法の研究。
- 2) 競技の普及、競技力向上に関する講習会練習会等の企画準備、および運営の中心となる。
- 3) その他、必要事項

4. 審判委員会

- 1) 主催大会の審判に関する事項の処理。
- 2) 競技規則、審判法に関する研究。
- 3) 審判に関する講習会等の企画、準備および運営の中心となる。
- 4) その他、必要事項。

5. 会計委員会

- 1) 本部の予算・決算の原案作成。
- 2) 予算執行に関する事務。
- 3) その他、必要事項。

第23条 各実務委員会は、必要に応じて、各委員長が招集する。

第24条 各ブロック委員会は、専門委員会・常任委員会の決定に基づき、次の事項について、審議、執行する。

- 1) ブロック大会の企画・運営に関すること。
- 2) ブロック大会の会計に関すること。
- 3) その他、ブロックに関する、バドミントン競技の発展に寄与すること。

第8章 会計

第25条 本部の経費は、加盟費、大会参加費、その他の収入を持ってこれにあてる。

第26条 本部の会計年度は、毎年4月1日より、翌年3月31日までとする。

第9章

第27条 本部のブロック構成は、別表の通りとする。

第10章

第28条 本部の運営に必要な細則は、専門委員会の承認を得て、別に定めることができる。

第29条 特別に必要な生じた場合は、専門委員会の承認を得て、特別委員会を設けることができる。

第30条 本規約は昭和59年6月12日より発効する。

本規約は昭和61年4月25日より改正施行する。

本規約は昭和63年4月26日より修正施行する。

本規約は平成5年4月22日より改正施行する。

本規約は平成10年9月1日より改正施行する。

本規約は平成12年4月18日より改正施行する。

東京都中学校体育連盟バドミントン部規約・別表

ブロックの構成（平成12年9月1日より）

ブロック名	所属支部名
A（第1・第2）	千代田・港・品川・大田 新宿・目黒・世田谷・渋谷
B（第3・第4）	中野・杉並・練馬 文京・豊島・北・板橋
C（第5・第6）	中央・台東・荒川・足立 墨田・江東・葛飾・江戸川
D（第7・第9）	武蔵野・三鷹・府中・調布・狛江 八王子・町田・稲城・多摩・日野
E（第8・第10・第11）	青梅・福生・あきる野・羽村・西多摩 立川・昭島・小金井・小平・国分寺・国立 東村山・西東京・清瀬・東久留米・武蔵村山・東大和
F（第12）	島嶼

